



新空港線「蒲蒲線」

平成27年活動報告

- 1. 新空港線事業概要 2～3ページ
- 2. 交通政策審議会の答申について 4ページ
- 3. 気運醸成の方法 5～6ページ
- 4. 大田区取り組み 7ページ
- 5. 新空港線とまちづくりの連携 8ページ
- 6. まとめ 9ページ

平成27年11月18日

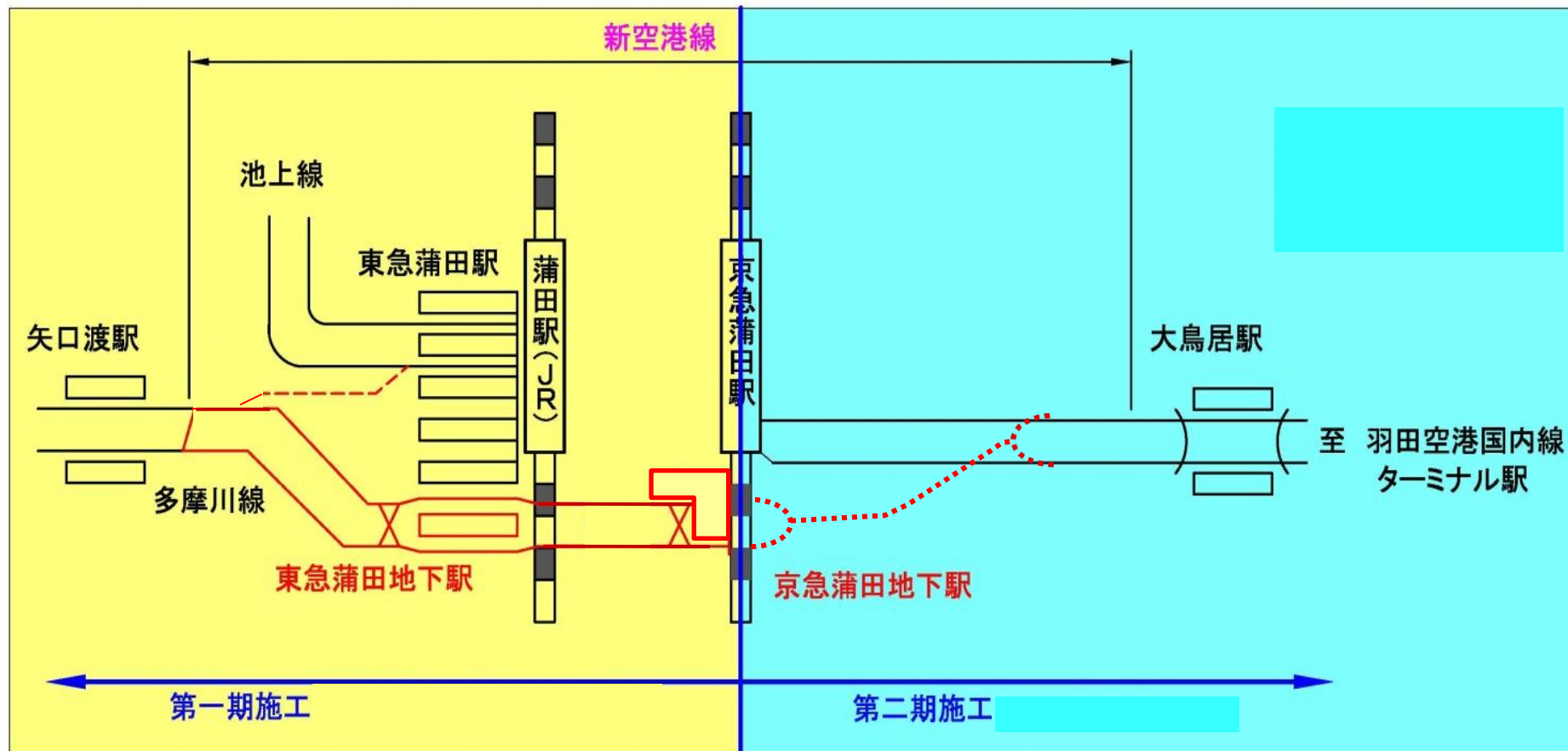
大田区

1. 新空港線事業概要(1) 先行整備

2

☆まず、区内の東西交通の分断を解消するために
東急多摩川線を複線で京急蒲田駅まで延伸する

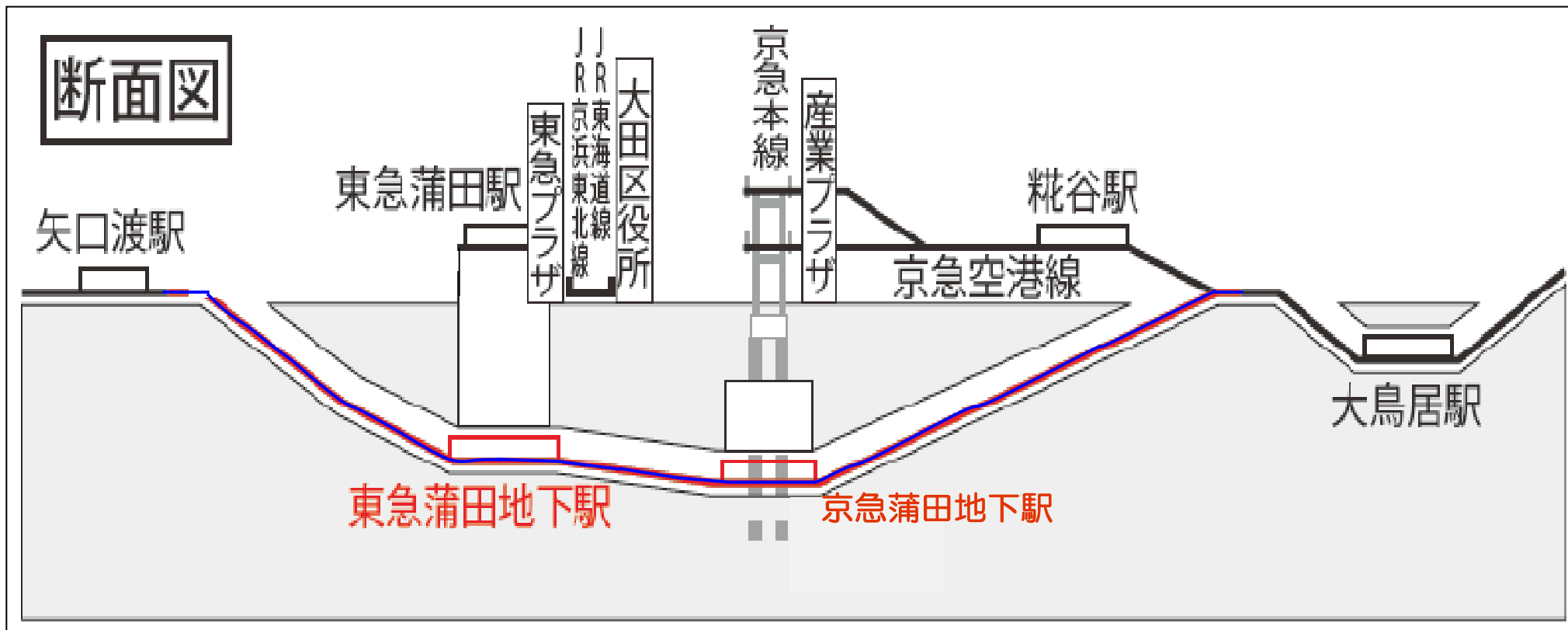
◆先行整備時



※大田区独自の案であり、関係者合意が取れたものではありません。

1. 新空港線事業概要(2) 断面図

3



※フリーゲージトレインによる相互直通運転により乗換えが発生しない。

※大田区独自の案であり、関係者合意が取れたものではありません。

前回の答申第18号での位置づけられた路線の進捗

A 1 路線

答申路線**16**路線中
13路線が整備済み

A 2 路線

答申路線**1 2**路線中
1路線が整備済み
※新空港線はA 2に位置づけ

B 路線

答申路線**5**路線中
整備済みは**無し**



今年度は、15年に1度の答申が出されるチャンス。
次期答申で新空港線の評価が高まる公算

3. 気運醸成の方法①（広報活動について）

5



標語・絵画コンクール 2次審査会の様子



駅構内のPRポスター



のぼり旗



本庁舎の懸垂幕



平成27年11月17日の新聞記事



イベント会場でのブース出展の様子



大森地域庁舎懸垂幕

3. 気運醸成の方法②

6



【事業実施に向けた検討経過】

平成17年度～現在・区民協議会の開催（これまでに7回開催）

（区民、区議会議員等により構成）

平成25年度

- ・7区長（大田区、港区、新宿区、品川区、目黒区、渋谷区、豊島区）が都へ早期着手の要望書提出（平成26年2月）

平成26年度

- ・国土交通省の諮問機関である交通政策審議会においてヒアリングを受ける（平成26年6月）

- ・9区長（大田区、港区、新宿区、品川区、目黒区、世田谷区、渋谷区、豊島区、板橋区）が、国、都へ早期着手の要望書提出

平成27年度

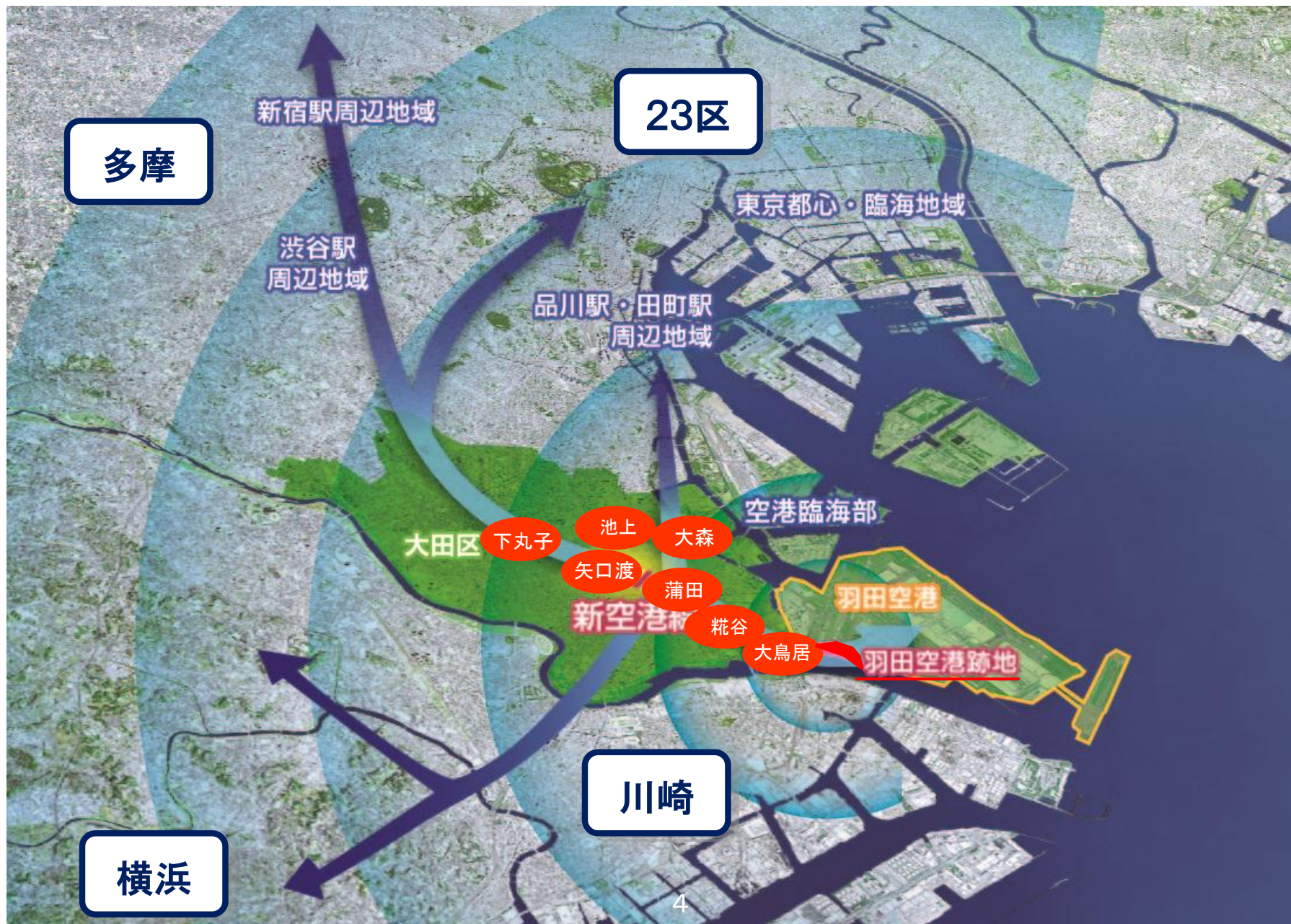
- ・7月に東京都が「広域交通ネットワーク計画について」の報告書を発表
⇒同日に区長が遺憾である旨のコメントを発表

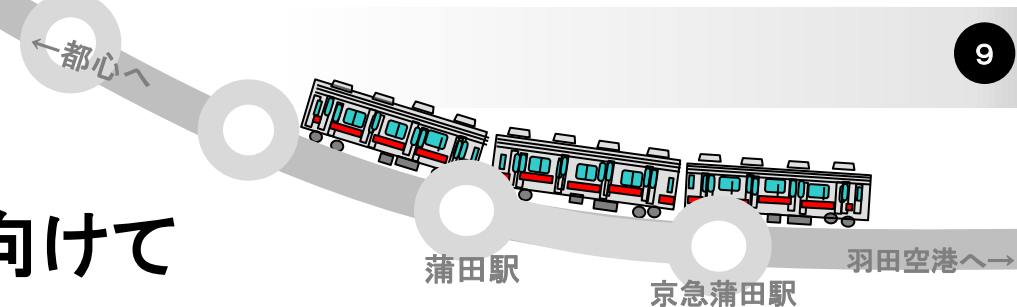
- ・新空港線整備の気運を高めるため、各種広報活動を実施

- ・平成28年3月、国の交通政策審議会による答申の発表予定

5. 新空港線とまちづくりとの連携

8





○新空港線の早期整備実現に向けて

答申は今年度末に予定されており、新空港線にとって大変重要な時期となります。

新空港線は、計画、事業内容、費用面の深化を十分図っており、整備着手をする準備が整っております。

新空港線が整備されると、区内の東西方向の移動が格段に便利になります。また、羽田空港の航空需要がさらに増加するのは明らかであり、空港アクセスの改善のためにも、新空港線の一日も早い実現に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き、皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。